

BEETHOVEN

ウェールズ弦楽四重奏団

ベートーヴェン ◆ 第1夜 ◆ 弦楽四重奏曲全曲演奏会

2017.1月18日 [水]

18:30 開場 19:00 開演

iichiko 総合文化センター *iichiko* 音の泉ホール

TICKET 一般 3,000yen [友の会びび 2,700yen]
U25割 1,500yen (25歳以下)

※U25の取り扱いはいちちこ総合文化センターインフォメーション、HPのみ

PROGRAM

弦楽四重奏曲 第2番 ト長調 op.18-2
第5番 イ長調 op.18-5
第12番 変ホ長調 op.127

主催・お問合せ / iichiko総合文化センター〔(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団〕
〒870-0029 大分市高砂町 2-33 tel.097-533-4004

助成 / 平成28年度 文化庁 劇場・音楽堂等活性化事業、一般財団法人 地域創造
特別協賛 / 三和酒類株式会社
企画・制作 / iichiko総合文化センター
後援 / 大分県、大分市、大分合同新聞社、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送
OCT大分ケーブルテレコム、エフエム大分、ゆふいんラヂオ局、シティ情報おいた

VERUS STRING QUARTET



これはあなたのために書いたものではありません。後生のために書いたのです。—— L.v.ベートーヴェン

ウェールズ弦楽四重奏団は今年2016年、結成10周年を迎えた。

結成当時20歳前後だった我々も30代に突入しようとしている。

ベートーヴェンが弦楽四重奏曲op.18を書き始めたのが20代後半。

この頃から耳の状態も悪くなり、30歳を過ぎた頃には遺書まで書いている。

だからこそ、まさに今、等身大の我々がベートーヴェンの苦悩と真正面から対峙しなければならない。

弦楽四重奏団にとってベートーヴェンの音楽は“聖書”のようなものだ。

ベートーヴェンが遺してくれたこの“聖書”を前に、ウェールズの新たな挑戦が始まる。

2016年10月1日 ウェールズ弦楽四重奏団

profile

- 崎谷 直人 (ヴァイオリン) Naoto Sakiya, violin
- 三原 久遠 (ヴァイオリン) Hisao Mihara, violin
- 横溝 耕一 (ヴィオラ) Koichi Yokomizo, viola
- 富岡 廉太郎 (チェロ) Rentaro Tomioka, cello

桐朋学園の学生により2006年に結成。軽井沢八月祭、宮崎国際音楽祭、プロジェクトQ、JTが育てるアンサンブルシリーズ他、国内の多数の演奏会、音楽祭に参加。2008年ミュンヘンARD国際音楽コンクールにて第3位、日本人の団体として東京クワルテット以来38年ぶりの入賞を果たす。2009年日本音楽財団の協力で王子ホールにて正式なデビュー公演を行う。原田幸一郎、東京クワルテットのメンバー等から指導を受ける。

2010年より拠点をスイス・バーゼルに移し、バーゼル音楽院にてライナー・シュミット（ハーゲン四重奏団）のもとで研鑽を積む。南仏ボニユー音楽祭、ドイツ・シュヴェツィンゲン音楽祭、ドイツ・ボイゲン城でのコンサートへの出演など、ヨーロッパでも活動の場を広げる。青山音楽賞受賞。2011年バーゼル・オーケストラ協会（BOG）コンクールにて“エクゼク”賞受賞、第7回大阪国際室内楽コンクール弦楽四重奏部門第3位。2008、2010、2011年度松尾学術振興財団より助成を受ける。

2012年バーゼル音楽院を修了し、2013年より拠点を日本に活動。3月東京・春・音楽祭に出演。4月には Hakuju Hall にて行われた藤倉大の個展にて弦楽四重奏曲第2番「フレア」（2010）を演奏し好評を博す。10月には紀尾井ホール主催公演にて本格的なリサイタルを成功に導く。2014/2015はレジデント・アーティストとして Hakuju Hall で全3回のシリーズを担当。2014年10月のシリーズ第2回では、2008年ミュンヘンARD国際音楽コンクールで同じく第3位入賞の金子 平（クラリネット/読売日響首席）と共演。2015年7月fontec からリリースのデビューCDでも共演している。また NHK-FM「ベストオブクラシック」の公開収録に出演、9月には NHK-BSプレミアム「クラシック倶楽部」でも演奏会の模様が全国放送される。さらに、NHK「名曲アルバム」にも出演するなど、着々とキャリアを重ねている。

これまでにメナヘム・プレスラー（ピアノ）、小林道夫（ピアノ）、リチャード・ストルツマン（クラリネット）、ポール・メイェ（クラリネット）、アレクサンダー・ロマノフスキー（ピアノ）等の著名音楽家との共演。2016年は結成10周年を迎え様々な企画に取り組みしており、2016/2017シーズンは、第一生命ホール、日本モーツァルト協会定期、紀尾井ホール等へ出演の他、神奈川フィルや名古屋フィルと協奏曲の演奏も予定されている。

2020年、楽聖ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェンが生誕250年を迎えます。

そのベートーヴェンの百数十曲の作品群には特に重要な三本の柱があります。

第一の柱は「9つの交響曲」です。交響曲の世界でベートーヴェンは音楽表現の限界に挑戦し、とうとうカンタータみちいなる「第九」交響曲にたどりつきます。ここにあるのは「音楽家ベートーヴェン」のすさまじいまでの存在感です。

第二の柱は「32のピアノ・ソナタ」です。若々しくエネルギー溢れる作品2枚より崇高な境地にまで到達した作品109、110、111のソナタにいたるまで、「人間ベートーヴェン」の人生そのものがあります。

そして第三の柱が「16の弦楽四重奏曲」です。2つのヴァイオリン、ヴィオラ、チェロの対話の中で、ベートーヴェンは思索の限りを尽くします。ここにいるのは「哲学者ベートーヴェン」です。

iichiko総合文化センターは、完全オリジナル企画として、今年から生誕250年の2020年までの5年がかりで哲学者ベートーヴェンの全仕事「弦楽四重奏曲全曲演奏会」に取り組みます。ウェールズ弦楽四重奏団を迎えての渾身のプロジェクトです。

大分県立美術館
【展覧会情報】

2016 コレクション展Ⅴ コレクションに見る 生活の詩
2016年12月2日【金】～2017年1月31日【火】＊休展日1/4（水）

オランダのモダン・デザイン リートフェルト/ブルーナ/ADO
遊ぶデザイン&暮らしのアート
2016年12月2日【金】～2017年1月22日【日】＊休展日：12/19（月）、1/10（火）

上演中の客席への入退場は制限させていただきます。やむを得ない事情により、出演者などが変更されることがあります。ご予約後の変更およびキャンセルはお受けできません。公演中止の場合を除き、一度購入されたチケットの変更および払い戻しはいたしません。未就学児童の同伴はご遠慮ください。無料託児サービスをご利用ください（要申込：1月11日17時まで。満1歳児から未就学児まで。定員10名）。無料託児サービス及び車椅子席のお問合せ・ご予約はiichiko総合文化センター（097-533-4004）までお電話でお申し込みください。

【チケット発売日】

〈くび発売〉 10月15日（土）10:00 〈一般発売〉 10月22日（土）10:00

【チケット取扱】

iichiko 総合文化センター ホームページ（インターネット販売）
iichiko 総合文化センター 1Fインフォメーション tel.097-533-4006
トキハ会館3Fプレイガイド tel.097-538-3111
別府エトウ南海堂 tel.0977-22-0827
ローソンチケット（ローソン各店）《Lコード：82382》 tel.0570-000-407
チケットぴあ（セブンイレブン各店）《Pコード：308-505》 tel.0570-02-9999
セブンイレブン〈店内マルチコピー機 セブンチケットボタンより〉

【お問合せ】 iichiko総合文化センター 【（公財）大分県芸術文化スポーツ振興財団】
tel.097-533-4004 〒870-0029 大分市高砂町2-33

iichiko 総合文化センター



- 大分駅から徒歩約 15 分
- 九州自動車道・大分 IC から車にて約 7 分
- 大分空港から特急バス「エアライナー」にて大分駅まで約 60 分